

水田たより 6月号

令和8年6月2日

JA みえきた

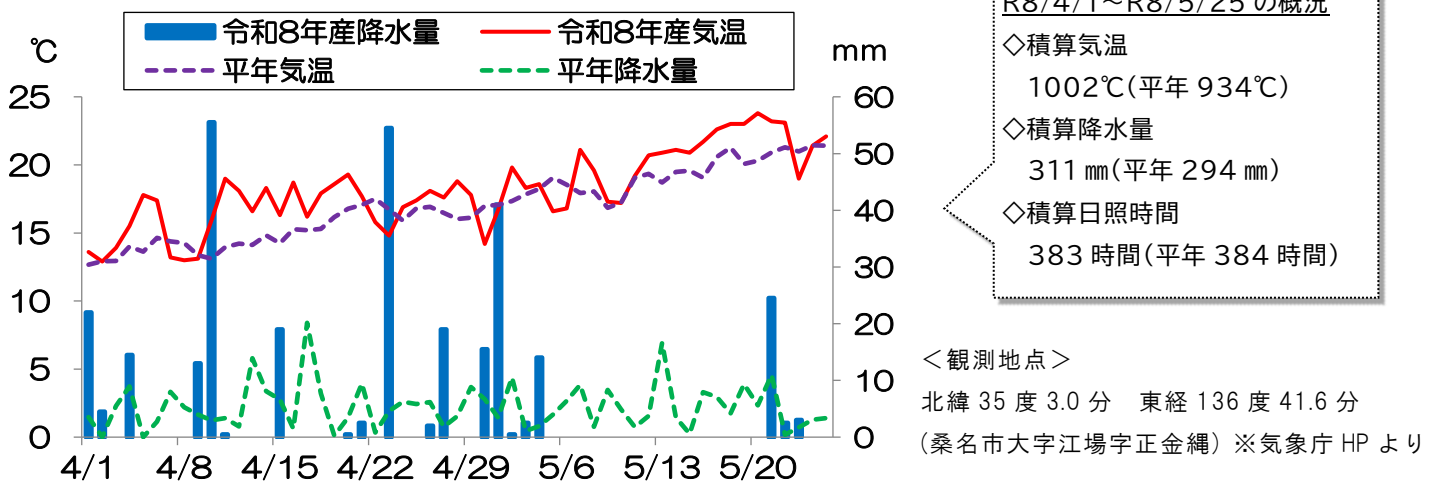
桑名地域農業改良普及センター

水稲

気象状況と生育状況

4月、5月は気温が平年より高く推移しました。また、東海地方の1か月予報（5/28 気象庁発表）では、向こう1か月の気温が平年より高い確率は70%と予測されており、今後気温は高く推移すると見込まれます。気温上昇に伴い分けつが促進されるため、中干しの開始が遅れないよう「コシヒカリ」で収量 540kg/10a を目指す場合、50株移植で茎数 20本/株、60株移植で茎数 16~17本/株のとき中干しを始めましょう（水田たより令和7年6月号裏面参照）。

○気象状況



大豆

播種に向けたほ場準備

麦収穫後すみやかにほ場準備をし、播種作業に備えましょう。

連作ほ場では pH が低下（酸性化）している恐れがあります。特に酸性土壌を好むタデ科雑草が多発している場合は、**土壌改良資材**を施用して pH を 6.0~6.5 に調整しましょう。

早期に播種した場合、「フクユタカ」は蔓化（つるぼけ）する可能性があるため、**7月上中旬の適期に播種しましょう。**

ほ場準備としては、**播種前の排水対策を徹底**することで降雨による苗立不良や生育不良を防ぐことが重要です。また、播種後の病害虫を防ぐために**種子消毒**を行い、苗立ちを確保しましょう。

◇排水対策のポイント

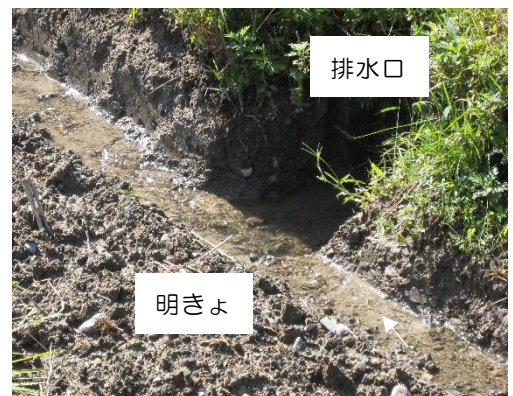
- ・明きよと排水口を必ず連結させる。
- ・明きよに埋まっている土や繁茂している雑草を取り除く。
- ・ほ場を均平にする。

※麦刈り取り後は、明きよが崩れており、排水がスムーズに行われない可能性があるため、必ず確認しましょう。

◇土壌改良資材の例

苦土石灰：やや遅効性、施用後すぐに作付け可能。

目安施用量は 80~100kg/10a。



明きよと排水口が連結されているほ場

過去の水田たよりは桑名地域農業改良普及センターのホームページでご確認いただけます。「桑名普及」でご検索ください。



桑名普及

検索